

浜田医療センターの理念
医療を通じて
「地域で生きる」を
支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



🔍 浜田医療センター で検索!



院長就任のご挨拶

栗栖 泰郎

2023年4月1日より、飯田博前院長の後任として院長の職務を引き継ぐこととなりました。2020年4月に飯田前院長が就任されると同時に、私は副院長に就任いたしました。その後の3年間の副院長としての職務はちょうどコロナ禍と重なり、院長の指導の下、多くの時間と労力をコロナへの対応に費やすこととなりました。連日の感染患者の入院、院内クラスター発生、職員の感染など、いろいろなことが起こりましたが、そこに直接関わる多くの職員の努力と協力により何とか乗り切ることができたことを、職員一人一人に心から感謝します。そのコロナも、この原稿を書いている時点では、既に5類感染症となりました。今後、どのような波が再来するかは解りませんが、5類なりの対応を行いつつ、コロナ以外の医療をこれまで通りしっかりと守っていくことが大切です。

浜田医療圏の現状としては、人口減少の持続(年間約900人)、高齢化率(約37%)の上昇傾向の持続、医療の圏域内完結率84.5%などの状態があります。このような中であって、重度の要介護状態になっても圏域内の病院、診療所、様々な医療系施設、福祉系施設、サービス提供施設などが連携して、その圏域内でその人らしい営みを続けることができるような体系として、地域包括ケアシステムの構築が求められています。そのためには、圏域内の医療資源を適正に配置することが必要であり、地域医療構想として行政と連携しながら計画が進んでいます。その中における浜田医療センターの役割は、浜田医療圏の急性期医療の砦であるということです。

2023年度になり、近隣病院の人員減少に伴う医療機能の低下も相まって、当院の急性期医療における役割は益々重要になっています。医療の質がこれまで以上に問われている中で、職員一人一人に加わる負荷が増えていますが、短期的、中長期的な人材確保のために努力するとともに、職員の働き方改革を進めていくことで、心身の健康を維持でき、やりがいを実感できる職場を目指します。また、各職員の能力の維持・向上のために学ぶことができる環境整備の支援をしていきます。

患者さん一人一人を支えているのは、個々の施設だけではなく、地域(包括ケアシステム)です。当院内においては、救命救急センター、急性期病棟、包括ケア病棟、回復期リハビリ病棟、緩和ケア病棟などの各部署間のよい連携が必要です。また、当院外においては、地域の医療機関、医療系施設、福祉系施設、サービス提供施設とのよりよい連携が必要です。そして、そのためにはそこで働く職員の皆さんをお互いにリスペクトすることが何より大切だと考えます。

また、当院が存続していくためには、経営の改善は必須であり、そのためには当院の診療における得意な分野はさらに伸ばし、今後スリム化できることはしていく必要があるでしょう。

浜田医療センターが、「医療を通じて”地域で生きる”を支援する」という当院の理念を実現するための事業を継続することができるように、私達職員一人一人努力してまいります。地域の皆さんからは、今後とも暖かいご支援を継続いただきますよう、何卒よろしくご願い申し上げます。

contents

- 2 院長就任のご挨拶
- 3 看護の日
- 4~5 新任医師紹介
- 6~7 地域連携室
- 8~9 看護学校だより
- 10 がん相談支援センターだより
- 11 秋の特別メニュー / 職員募集
- 12 外来診療担当医表